

第4回マリンバイオテクノロジー学会若手の会討論会（合宿型）

開催日：9月9日（月）-9月10日（火）

会場：昭和の森フォレストヴィレッジ、千葉市、千葉県 (<https://forestvillage.jp>)

企画責任者：小祝 敬一郎（東京海洋大学）・モリ テツシ（東京農工大学）

2024年9月9日-10日に、1泊2日の日程で、第4回マリンバイオテクノロジー学会若手の会討論会（合宿型）を、昨年に引き続き昭和の森フォレストヴィレッジにおいて開催した。今回は、5大学（東京大学、東京農工大学、関東学院大学、日本大学、東京海洋大学）7研究室から、教員および学生あわせて約50名が参加した。例年と同様に、初日には各教員からの研究室紹介と学生による自身の研究紹介が行われた。夕刻には学生交流会が催され、大学の垣根を越えた交流が見られた。2日目の午前中には、学生主催企画として研究クイズ大会が実施され、各研究室の研究内容にまつわる問題が出題され、大変盛況であった。

参加学生の学年の幅も広く、学部3年生から博士後期課程の学生が一堂に会し、議論が行われる貴重な場であることが再認識された。また、昨年に引き続き2年連続で参加した学生も多く、お互いに昨年からの研究等の進捗を話し合う場面も見られ、研究を通じた人的交流の面白さを感じてもらえたことと思う。本討論会は、本学会所属の若手教員の交流場としても重要であり、本年度は2名の若手教員（加藤由悟先生、米澤遼先生）に初めて参加していただいた。

本討論会は、「学生が他大の学生と交流できるまたは進学を考える場」そして「本学会の若手研究者の増員、さらには新たな共同研究を誘発して学会活動を活性化できる場」を活動の主旨として設けられている。今年の会でも、その必要性和重要性を改めて確認することができた。一方で、昨年に引き続き、宿泊形式での実施であったが、参加者の増加がみられている。昨年・本年と使用した会場では50名以上の参加者の収容は難しく、今後の運営に向けて会場および運営方法の議論の必要性が感じられた。これらの課題を克服し、本合宿型若手の会討論会を本学会の一つの重要なイベントとして定着させていきたいと考える。

以上。